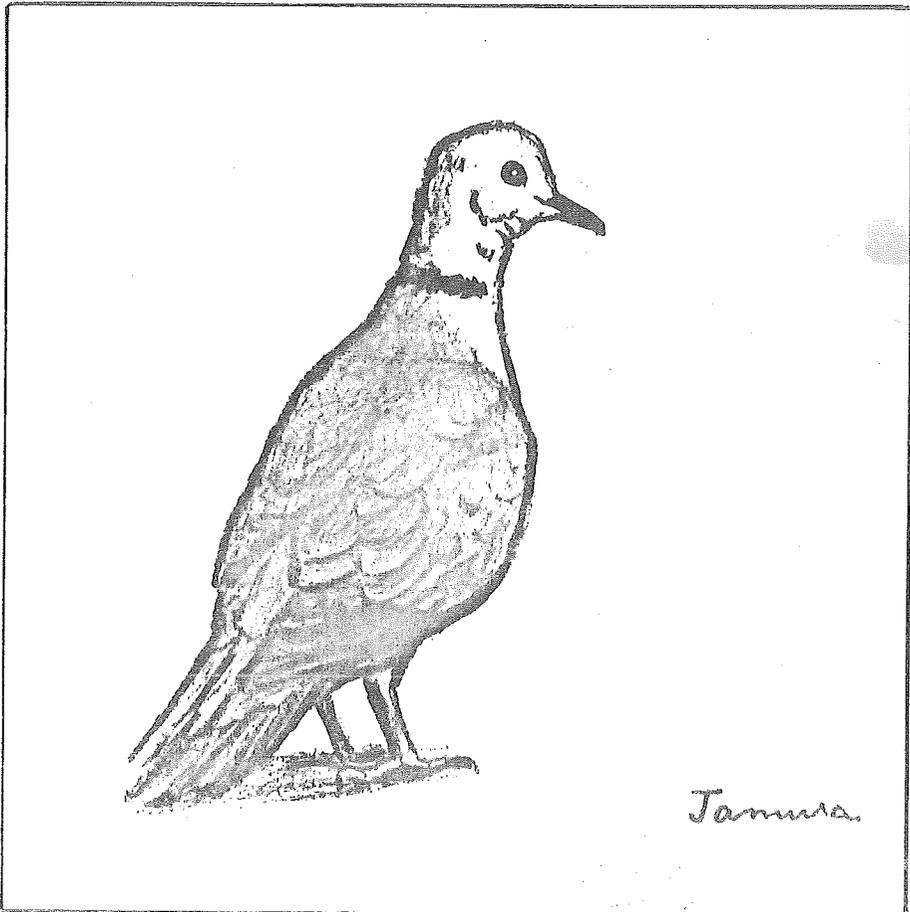


1984.5月6日

創刊号

しろこぼと

日本野鳥の会埼玉県支部



埼玉県支部発足にあたって

財団法人日本野鳥の会

会長 山下 静一

埼玉県支部の発足おめでとうございます。日本野鳥の会が創立50周年を迎え、さあ、これから野鳥保護のために、さらに仲間を増やそうという年に、新しい支部が発足することは、大きな喜びです。

埼玉県下には、現在本会会員が1000名以上在住されており、みなさんの善意の力が支部に結集されれば、地域に根ざした自然保護の推進に力強く反映されるはずであります。支部の地域活動と、会の国際協力を含めた全国

活動とがあいまつて、これから21世紀にかけての自然保護は展開されることになるのです。

新支部発足に寄せられる社会からの期待はあり余るほどありますが、そこは経験豊かな今井昌彦支部長はじめ、熱気にあふれる役員の方々のリードのもと、必ずや、地域社会の、また、野鳥たちの期待に答えられる支部に成長されるものと確信致しております。

埼玉県支部のご発展をお祈り申し上げます。

ごあいさつ

日本野鳥の会埼玉県支部

支部長 今井 昌彦

新しい日本野鳥の会埼玉県支部の設立にあたって、皆様に、私達の考えと、今後の事についてお話しして、ごあいさつとします。

様々な事情により、従来の日本野鳥の会埼玉県支部が取消されたことは、皆さんもご存じのことです。そこで私達は、新しい埼玉県支部を設立することといたしました。私は、今更支部取消のことごとに触れたくありませんが、思えば、昭和53年に支部が設立承認された頃が、懐かしく感ぜられると同時に、今こうした姿で再発足するのを、残念に存じます。

私達は、元々野鳥の好きな人達の集りで、趣味として参加されている会員も、大勢居られるはずですが、野鳥の会は、誰もが入会出来

る会です。当然、職業年齢も問われるはずありません。野鳥のさえずりを聞いても、姿を見ても、充分識別出来なくとも、野鳥好きであり、趣味をお持ちなら、探鳥会も楽しいものです。

そうした人達の集りこそ、自然保護を積極的に進められる活動源ではないでしょうか。日本野鳥の会埼玉県支部は、私達で協力出来る野鳥保護の仕事を、会員相互の親睦を計りつつ、着実に推し進めて行き度いと存じます。

「しらこぼと」は、そんな事業に役立つような、和やかな会報に育てて行き度いものです。

日本野鳥の会埼玉県支部正式に発足

日本野鳥の会埼玉県支部は、昭和59年4月24日付を以て、財団法人日本野鳥の会理事会において設立承認され、正式な支部として発足しました。その反響は大きく、5月20日現

在で、入会手続きをすませた方が、既に225名に及び、役員一同、あらためてその責任の重大さを痛感しております。

役員紹介

支部長	今井昌彦	(熊谷市)
副支部長	鈴木忠雄	(熊谷市)
副支部長	田村照治	(寄居町)
副支部長	海老原美夫	(浦和市)
幹事	西城戸司	(浦和市)
幹事	今井明巨	(熊谷市)
幹事	石川敏男	(春日部市)
幹事	長野博行	(北本市)
監事	堀越照雄	(熊谷市)
監事	石井生高	(寄居町)

設立準備会を通じて一応この通り決まりましたが、これが最善のものとは、役員達自身考えておりません。一年後の総会で、十分に再検討する予定です。

第1回役員会議開催

5月4日午後6時から、熊谷市内今井旅館に於て、第1回役員会議が開かれました。出席者は、今井明巨幹事を除く役員全員と、来賓として、本部常務理事川崎惟男、同事務局園部浩一郎の両氏でした。今井支部長の挨拶から始まり、規約成立の確認、規約の附則第3項を適用して、第1回役員会を以て初年度総会にかえる旨の決議、昭和59年度事業計画案、同予算案の承認、5月と6月の行事の確認、今後の支部のあり方についての論議など、活発な議論がかわされました。特に、今後の支部のあり方については、積極的に会員の声を聞かなければならないと全員意見が一致しました。どしどし事務局の方に御意見をお寄せ頂くか、探鳥会の際などにお聞かせ下さい。役員会は今後毎月一回開かれる予定です。

これからの活動は

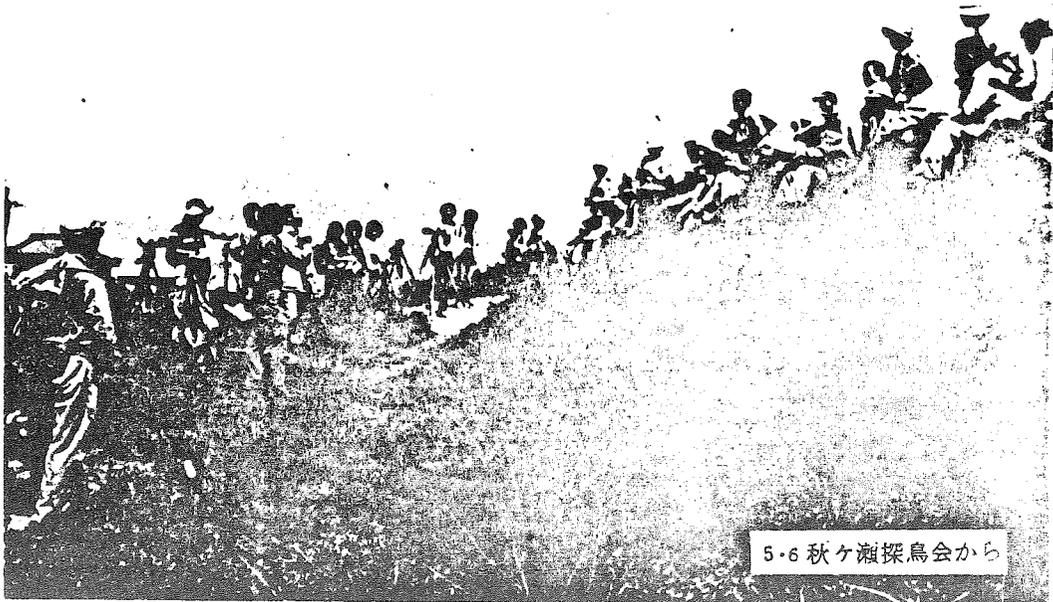
1. 支部報「しらこばと」を、毎月1回発行します。(創刊号は、埼玉県内在住の日本野鳥の会会員の皆様に広くお送りしますが、次号からは、支部会員のみへの配布となります。)
2. 探鳥会を、毎月3回位ずつ開催します。
3. 探鳥会等あらゆる機会に、支部の体制、活動方法等に関する意見を会員から聞き、昭和60年度総会の為に蓄積すると共に、直

ちに実現できるものは、十分にそれを尊重します。

4. 日本野鳥の会のオリジナル商品を中心とする販売物を仕入れ、販売します。

その他にも、教育機関や官公署等への対応、調査研究体制の整備等、やらなければならない事は、山積みされております。設立されたばかりですが、がんばらなければなりません。御協力をお願いします。

最初の探鳥会が開かれました



5・6 秋ヶ瀬探鳥会から

新支部設立後最初の探鳥会が、5月6日、浦和市秋ヶ瀬で開かれました。特別講師として本部指導部長の塚本洋三氏を初め、数輪の本部の花々（もちろん女性達のこと。そう言えば花ではない男性も何人か）が駆けつけ、総参加者数66名の、盛大で楽しい探鳥会でした。秋ヶ瀬公園から桜草公園へ行くコースで、センダイムシクイ、シラコバトなど、出現鳥も28種に及び、好天にもめぐまれ、塚本氏は、ついに靴をぬいで、はだして歩いていました。

途中、初めて参加した中学生と小学生の姉妹が、誰に言われた訳でもないのにゴミをひろい始め、皆も協力して、たちまち大きな袋に二個分も集まりました。そのゴミは参加者の車のトランクに積んでおいて後程処理しましたが、自然保護運動というのは、効率論にかたよりすぎではいけない、この様な事が実は大変重要なのだと、あらためて考えさせられた一場面でした。

初めての探鳥会（秋ヶ瀬）

浦和市 大森 詩子（小学5年）

わたしが小さいころ、お姉さんがベランダに、小鳥のえさ台を付けたので、スズメやキジバトなどを、2メートルぐらいの近さで見ることが出来ました。そのうち、近所のネコが来て、鳥をねらうので、残念だけど、えさ台を取りはずしました。

今度、初めて探鳥会に行つて、たくさん鳥を見ることが出来ました。まだ浦和に、あんなに鳥がいたなんてびっくりしました。これから、探鳥会でいろんな鳥を見て勉強したいと思います。

野鳥情報

浦和市 秋ヶ瀬地区 埼玉大学野鳥研究会

- 3月14日 マナヅル亜成鳥1
 3月20日 ケリ
 3月24日 ユリカモメ3
 3月27日 コチドリ 初認
 4月2日 ムナグロ 初認 タカブシギ初認 ツバメ 初認
 4月14日 オオヨシキリ 初認
 4月18日 アカエリヒレアシギ半夏羽 初認
 4月21日 コムクドリ♂2 初認 オオヨシキリ SONG
 4月22日 キョウジョシギ 初認
 4月24日 センダイムシクイ2 初認
 4月26日 コムクドリ♂2 キビタキ SONG 初認
 4月29日 アマサギ ウズラシギ2 チュウシヤクシギ いずれも初認

- 4月30日 メダイチドリ冬羽 キアシシギ サシバ2 (渡辺、富樫)
 5月6日 ハマシギ5 (夏羽4) 初認 アカエリヒレアシギ夏羽2、半夏羽1
 5月10日 エゾムシクイ 初認 ツツドリ 初認 センダイムシクイ キビタキ

5月12日 ヒバリシギ2 アカアシシギ
 なお、4月29日のシギ、チドリ類全国一斉調査には、秋ヶ瀬地区で11名が参加。

コチドリ5 ムナグロ439 キョウジョシギ4 ウズラシギ2 タカブシギ40 イソシギ5 チュウシヤクシギ3 タシギ14 ジシギSP1。

5月16日午前中と5月18日午後4時半頃、八潮団地北側の水田地帯で、マガモ♂1、♀3 (吉川町、戸張勝弘)

会員の声

新生埼玉県支部の発足、おめでとうござい
 ます。新支部が、日本野鳥の会創立50周年の
 記念すべき年に出発する事は、支部の将来へ
 の発展を約束している様です。

自然と鳥と人—グッドコミュニケーション
 の下に、全国の鳥仲間と力を合わせて、みん
 なで盛り立てていきましょう。

浦和市 楠見 邦博

今回の分裂騒動については、自然保護に対
 する大きなマイナスであるという点を憂慮し
 ています。双方の責任者とも、結果として大
 きなマイナスをもたらした責任を自らに問う
 より、相手を攻撃する姿勢の強い事に大きな
 憤りすら感じます。しかし、自然保護を遅滞
 させない事が大切と思ひ、双方に対する不信
 はさておき、両方に入会する事にしました。
 将来統合する事を条件に。

戸田市 H.H

私は会員になりました2~3年になります
 が、探鳥会に参加したこともなく、会費のみ
 の会員でございます。日々庭に姿を見せる鳥
 達のために、少しでも役立つならと、会費を

おおさめしている次第です。

これからも日本野鳥の会々員としてお願い
 致します。埼玉県支部の御発展おいのり致し
 ます。

大宮市 落合 温子

翡翠翠や流水の早き飛ぶ早き
 翡翠翠や波紋を残し岸に消ゆ
 翡翠翠の捕へし魚より水滴る
 波紋より出でし翡翠翠の嘴に魚
 早業の翡翠翠に魚逃げきれず

熊谷市 鈴木 忠雄

探鳥会案内

6月3日(日) 嵐山町 都幾川

午前9時東武東上線武蔵嵐山駅集合(志木
8:08、寄居8:31) 午後2時頃解散

菅谷館跡と都幾川を歩いて、夏鳥とシギ、
チドリを探します。カワセミ、ヤマセミに
も会えるかな。

6月17日(日) 熊谷市 大麻生

午前9時秩父鉄道大麻生駅集合(熊谷8:
55、寄居8:22) 12時頃解散

森林のシジウカラたち、草原のヒバリ達、
そして水辺のセキレイやカワセミと、いつ
も盛りだくさんの大麻生です。

※先に一部の方に「10日」とお知らせし
ましたが、17日に変更になりました。
ごめんなさい。あなたのお心当りの方
にも、お伝え頂けませんか。

6月17日(日) 浦和市 三室地区

午前8時15分京浜東北線北浦和駅東口集
合 午後1時頃解散 浦和市立郷土博物館
との共催で、参加費無料です。今後來年3
月まで、毎月第3日曜日、同じ時間、同じ
場所に集まつて行われる定例行事です。斜
面林の夏鳥や、芝川のシギ、チドリを探し
ます。

6月25日(月) 大井野鳥公園

平日探鳥会 午前8時川口駅ホーム中央付
近、又は午前9時品川駅東口集合 午後2
時頃解散 大井野鳥公園レインジヤーの佐
々木勉(川口市在住、当支部会員)が指導
します。今後毎偶数月の第4月曜日に、平
日探鳥会を予定しています。静かな平日の
大井野鳥公園、はたしてどんな鳥に会える
でしょうか。

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
当日受付けです。予約申し込みは必要ありま
せん。

筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば
双眼鏡(なくても大丈夫)、などを御用意下
さい。 小雨決行です。

参加費は、一般100円、会員と中学生以下は
50円です。

7月1日(日) 熊谷市 大麻生

午前8時30分秩父鉄道大麻生駅集合(大
宮始発7:31、熊谷8:19、寄居7:47)

12時頃解散 ホオジロ、ヒバリ、セツカ、
セキレイ、イソシギなどを見て、コチドリ
とイカルチドリの識別もおぼえましょう。

7月8日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川

午前9時寄居駅南口集合(東武東上線川越
7:50、秩父鉄道熊谷8:19、八高線東飯
能7:37) 午後2時頃解散

河原のツリ糸をひろいながら、ササゴイ、
イカルチドリ、カワセミなどを、運が良け
ればヤマセミまで見ちやう探鳥会です。

7月8日(日) 北本市 農事試験場跡地

午前9時高崎線北本駅西口集合(浦和8:
27、熊谷8:20) 午後2時頃解散

県下では有名な探鳥地のひとつです。最も
人気のある鳥、サンバ、サンコウチョウ、
カワセミが、全部一度に見られるかも知れ
ません。

7月15日(日) 浦和市 三室地区

午前8時15分京浜東北線北浦和駅東口集
合 午後1時頃解散 浦和市立郷土博物館

との共催、参加費無料の定例探鳥会です。
浦和市のはずれの真夏、鳥達も安定してい
ます。

探鳥会報告

5月6日 浦和市 秋ヶ瀬

人 66名 天気 はれ

鳥 ゴイサギ アマサギ コサギ カルガモ コガモ
キジ コチドリ イソシギ シラコバト キジバト
ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒ
ヨドリ モズ ツグミ オオヨシキリ センダイムシ

クイ セツカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
以上28種

5月13日 寄居町 玉淀湖

人 58名 天気 くもり後小雨

鳥 カイツブリ ゴイサギ カルガモ コジュケイ
キジバト ツツドリ アオゲラ アカゲラ コゲラ
ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ セグロセ
キレイ サンショウクイ ヒヨドリ モズ コルリ
マミジロ クロツグミ ヤブサメ ウグイス メボソ
ムシクイ センダイムシクイ エナガ シジユウカラ

メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル(30~50
羽位の群がいくつか) スズメ ムクドリ カケ
ス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス
以上36種
解散後にコシアカツバメとアマツバメ

寄居町男衾小が、愛鳥運動で 環境庁保護局長賞を受賞

寄居町立男衾(おぶすま)小学校(奈良治雄校長)が、野鳥観察を通じての地区ぐるみ愛鳥運動で、環境庁保護局長賞を、5月12日に受賞しました。

同校は、昭和53年に愛鳥モデル校に指定され、当支部会員の町田たか子先生が、自分も勉強を重ねながら(本人談)指導にあたり、5、6年生が愛鳥委員会を作つて、全校生の作つた巣箱やえさ台の管理などの奉仕活動にあたるほか、愛鳥クラブをもうけて、学校周辺の探鳥会などの学習を学校行事に取入れるなど、大きな成果を上げているものです。

そのほか、昭和54年には、学校独自の「野鳥観察いろはカルタ」を作つて、クラス対抗、

学年対抗から、学校名人を競つたり、広報紙「愛鳥だより」を発行するなど、様々な活動を行つています。

同校の活動は、テレビ埼玉から、5月27日(日)午前8:20~8:30、28日(月)午後9:50~10:00、29日(火)午前10:35~10:45の「教育の四季」という番組で放映される予定です。

町田先生は、本年4月から花園小へ転任されましたが、5月13日寄居町で行われた当支部探鳥会には、後任の馬場正夫先生と共に参加、席上、受賞を祝つて記念品がおくられました。

連絡帳

会費納入について

本年6月までに御納入頂ける方には、郵便振替え用紙を同封しました。今後それぞれの方が御納入頂ける月に、順次振替え用紙を同封してお送りします。その用紙を使つて「東京9-121130」に御送金頂くか、銀行振込（埼玉銀行浦和支店、普通預金、口座番号316990）、又は現金書留で御送金下さい。

郵便振替や銀行振込で御送金頂いた場合は、事務簡素化の為、領収証を発行しませんので、郵便局や銀行の受領証を保管して下さい。

ボランティア募集

事務局や探鳥会リーダーなど、当支部の活動はすべて、全くの無報酬、持出し必至のボランティアに支えられています。つらくて楽しいこのボランティアに、あなたも参加して下さいませんか。会員カードの整理、支部報の発送などや、自動車の運転や、あるいは、力仕事はまかせておけとか、編集、事業、調査研究のスタッフ等々、いつ頃、どんな仕事なら手伝いますと、あらかじめ登録しておいて頂ければ、必要に応じて御連絡します。

原稿募集

「しらこぼと」への投稿をお待ちします。鳥情報、フィールド紹介、探鳥旅行記、随筆、創作、論文、写真、絵、カット、漫画など、何でも大歓迎です。お気軽にお送り下さい。

事務局日誌

- 4月1日 第1回設立準備会議
- 4月8日 第2回設立準備会議
- 4月12日 第3回設立準備会議
- 4月16日 支部設立承認の申請（本部へ）
- 4月19日 埼玉県支部設立の御挨拶発送
- 4月24日 支部の設立承認（本部理事会）
- 5月1日 県環境部長、自然保護課、県庁記者クラブに支部設立の挨拶
- 5月4日 第1回役員会議
- 5月6日 第1回探鳥会（浦和市秋ヶ瀬）
- 5月8日 編集会議、事業部会議
- 5月13日 第2回探鳥会（寄居町玉淀湖）
- 5月14日 編集会議、事業部会議

編集後記

なかなか暖かくなりませんね。バードウィーク中、渡来した夏鳥たちも、さぞかし寒かつたことでしょう。

さて、ようやくのことで支部報（しらこぼと）の創刊号が完成しました。（新生埼玉県）支部の体制が不十分なため、発行がおくれ、会員の皆さんに御迷惑をおかけしました。次号からは、更に会員の皆さんに親しみやすい支部報にしていきたいと思えます。

それにしても、早く暖かくなり、夏鳥たちの元気の良い美声をききたいものです。

（5月16日 長野）

題字「しらこぼと」：日本野鳥の会会長 山下 静一

しらこぼと		1984年5月、6月合併号（創刊号）	
発行人	全井昌彦	発行所	日本野鳥の会埼玉県支部
発行所事務局	〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号		
		プリムローズ岸町107号	電話 0488(32)4062番
郵便振替	東京9-121130	銀行振込口座	埼玉銀行浦和支店普通預金316990

（無断転載を禁じます）